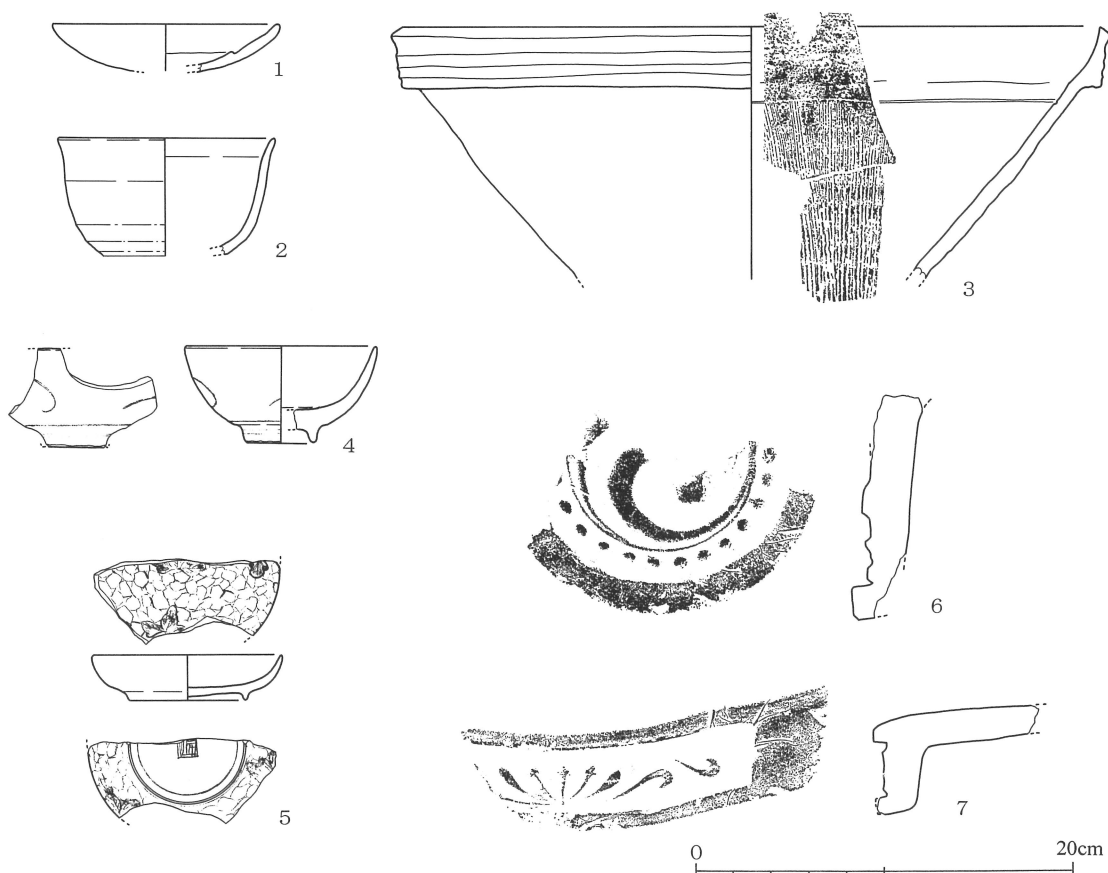




第 24 図 智成親王墓出土品実測図 (1/4)

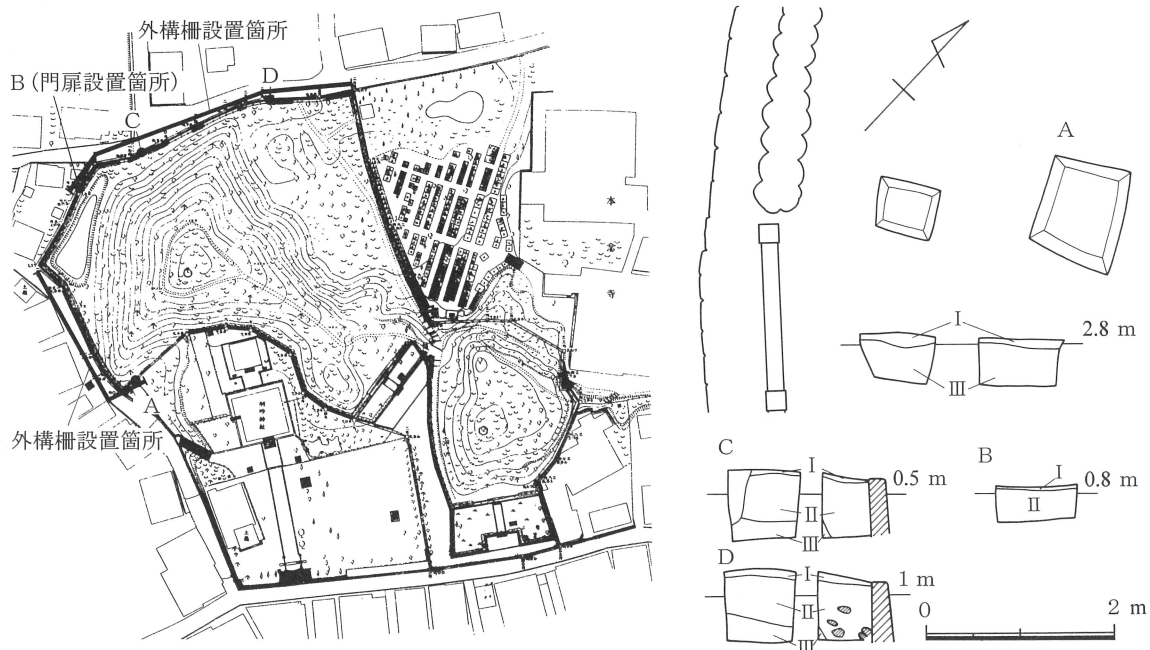
磐衝別命墓外構柵改修工事箇所の立会調査

垂仁天皇皇子の磐衝別命墓は、石川県羽咋市川原町に磐城別王墓とともにあり、現在羽咋神社に隣接している。両墓については、平成10年度に鳥居の改築工事箇所の立会調査が行われ、その結果は本誌第51号に報告したところであるが、この度、磐衝別命墓の外構柵と鉄扉が改修されることとなった。施工予定地内の掘削に伴い、遺構・遺物の有無を確認するため、平成12年9月18日から22日の間、本部職員と監区職員による立会調査を実施した。

境界沿いの施工地に、長さ0.6×幅0.6m×深さ0.5～0.6mの基礎埋設坑40箇所が、壺掘りされた。そのうち、土層の特徴などから、13箇所について実測を行い、4箇所分（A～D地点）を図示した（第25図）。各箇所とも土層の状況はほぼ同じである。土層は3層（Ⅰ～Ⅲ）に分けられた。Ⅰは表土で腐植土層である。Ⅱは、礫やコンクリート片を含んでおり、境界沿いにめぐる側溝を設置した際の掘形埋土と考えられる。Ⅲは褐色砂質土で、Ⅱに比べても軟らかいことから、当墓の墳丘斜面からの流出土と考えられよう。遺構・遺物は検出されなかった。

以上の結果を踏まえ、工事は予定どおり実施した。

（清喜裕二）



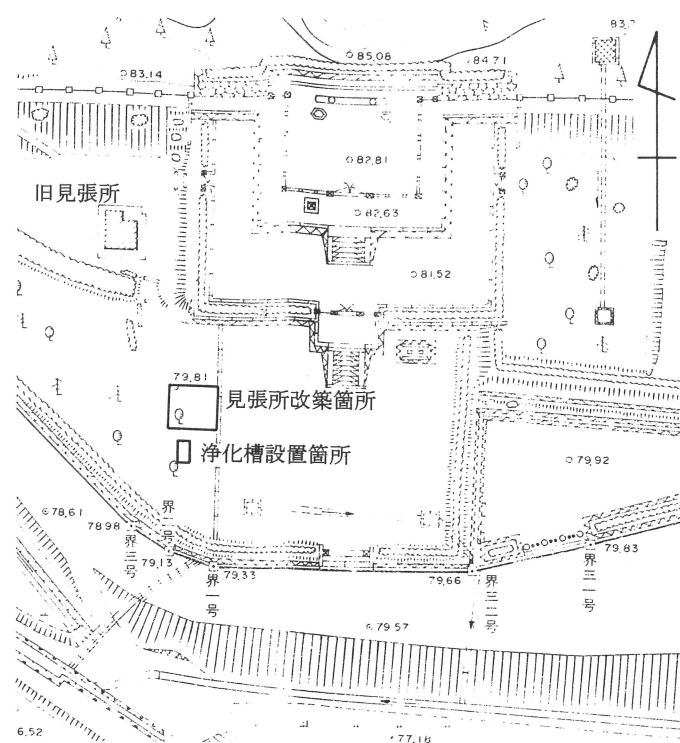
第 25 図 磐衝別命墓調査箇所位置図(1/2000)および平面図・断面図(1/80)

元正天皇奈保山西陵見張所改築工事箇所の立会調査

元正天皇陵は、奈良山（平城山）が西方に延びる丘陵上に位置し、その東側には元明天皇奈保山東陵が所在している。この度、その見張所を改築することになり、平成12年12月11日～14日、および翌年3月7・8・16・19日に、見張所改築箇所（長さ4 m×幅4 m×深さ0.3 m）、浄化槽

設置箇所（長さ1.5 m×幅2.5 m×深さ2 m）、排水管理設箇所（長さ38.20 m×幅0.4 m×深さ0.4 m）、給水管理設箇所（長さ32.40 m×幅0.4 m×深さ0.4 m）、電気管理設箇所（長さ39 m×幅0.5 m×深さ0.3 m）の掘削に立会った。

本陵の見張所は従前、特別拝所の西方にあったが、今回改築にあたり、その位置を約5 m南南東、つまり一般拝所の西側に移動することとなった。本陵前は大正10年に測量、同15年に補測された陵基地形図によると、幅約2 mの道路があって、その南側は急傾斜の法面を経て水田面となっているところである。その後、昭和11年～15年にか



第 26 図 奈保山西陵の調査箇所位置図 (1/500)